

びとう和広後援会ニュース

08号外 No. 2
発行日：
2008年8月23日
発行責任：
びとう和広後援会
会長：長谷川満敏

二期目に向けて、 頑張っています！



残暑お見舞い申し上げます。

今年は早々と猛暑となり、暑さ厳しい日々が続いています。後援会の皆様におかれましては、ご清祥のことと、心よりお慶び申し上げます。日ごろより、後援会の皆様の力強いご支援に、心から感謝いたします。

来る三田市議会議員選挙は、
〈9月21日告示・9月28日投票〉と
決定され、いよいよ二期目に向かって挑戦です。

厳しい財政下、勤労者・生活者の視点で、しっかりとチェックできる議会を創っていくことが肝要です。皆様の血と汗の税金なのです。大切に、活かさなければなりません。そのためにも、民間の感性で、効率的、かつ効果的に使っていかなければ、この難局を乗り切れません。市当局・議会・市民が共に汗し、痛みを負わなければなりません。だからこそ、皆様の声をしっかりと聞きし、皆様の思いを市政に届けなければなりません。

昨年来より、後援会の皆様のお宅を1軒1軒挨拶させていただくとともに、市政報告し、皆様のご要望やご意見をお聞きしてまいりました。あわせて、親類や友人・知人をご紹介いただき、後援会拡大活動も展開しております。

去る6月14日・15日は、後援会の幹事・運動員の皆様のご協力で、全戸訪問させていただきました。市政に対する多くのご意見を頂き、ありがとうございました。

今回（8月23日・24日）の後援会拡大活動は、ご支援いただいている労組の皆様や三菱電機労働組合関西ブロック各支部の皆様にもご協力をいただき、訪問させていただいております。皆様の思いを、ぜひお伝えいただければと存じます。

「びとう和広」は、引き続き、勤労者の代弁者として、生活者の代弁者として、皆様の声を市政に届けて参ります。皆様からのご意見をもとに、本当の「安心のまち・三田」を創るために、力一杯頑張ります。皆様の力強いご支援のほど、よろしくお願い致します。



二期目に向けて、決起集会を開催！

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel:079-563-1860 Fax:079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel:&Fax:079-562-8653
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

「しっかり財政」

厳しい市の財政を考えると、
「なぜ緊迫財政になったか？」
「無駄遣いはなかったのか？」
「計画段階でしっかりと審議されていたのか？」
その検証が必要です。
特に、駅前再開発の総額 240 億円の使い方について
検証が必要であると、議会で指摘しました。
同じ失敗を繰り返さないためにも、予算段階で、目的・経費・工数・効果・目標を明確にし、決算で成果・達成状況を検証することが大切です。

私は、財政業務の見える化の一環として、事業の評価シート作成と入札の電子化を訴えた成果として、

- 平成 18 年度決算審査より「事務事業評価シート」を使用することで、事業の価値を定量的に評価することができました。
⇒次は予算審査への展開を図ります。
- 電子入札を 18 年度より試運用、19 年度に本運用することで、入札率(実落札額/市予定額)を 77% まで削減し、昨年度比で 4,770 万円の支出を削減できました。

「にっこり安心」

地域医療としての安心体制と、防災や治安に対する安全管理の徹底を訴えてきました。

- 市民病院の強化…医師・看護師の辞めていく状況であったが、人員再配置と医師・看護師の確保により、少しずつ改善が図られています。
⇒しかし、まだ救急対応を含め、医師・看護師は不足しており、継続して強化を訴えていきます。
- 防災の地図化の実現…市民が確実に避難できるように、災害時の対処方法の明確化を訴えた結果、災害時の避難所・救急病院などを地図にした防災マップや、水害発生の予測と避難方法を示したハザードマップが作成されました。
〔三田市公式ホームページ参照
(<http://www3.city.sanda.hyogo.jp/>)〕
- 子どもの安全対策…児童の登下校を地域で見守る組織として学校区ごとに見守り隊の立ち上げを支援しました。また、子どもパトロールカーを、児童の下校時間に合せて運行させることで、安全性を高めました。

「びとう和広」4つの政策と1期4年間の成果！

「のびのび育成」

パソコンによる教育現場の効率化と現場・現実・現物を基本とした実体験の強化、芸術やスポーツを肌身で感じられる機会を創出して、感性を高めるよう訴えてきた成果として、

- 教職員の雑務や教育準備の業務効率を推進するため、教職員一人1台のパソコン環境の実現
- バレーボール協会の会長として、若い選手育成のために一流選手を招聘して、バレーボール教室を開催しました。

平成 18 年 11 月 5 日:全日本南克幸
平成 20 年 3 月 30 日:Vリーグチーム阪神デルフィーノ
平成 20 年 10 月 13 日:元全日本大林素子・永富有紀
(NHK スポーツ教室:予定)



←
バレーボール
Vリーグの選手に
直接コーチを受ける
中学生選手。
一流選手からの
マンツーマン指導は
大きな経験です。

「いきいき活力」

後援会の方から、就職難の話を多く聞いております。若者が三田に住み・働き続けられる環境を創ることが、本当の安心のまちづくりにつながると考えます。これからの少子高齢化のなか、市の財政を支えていく若者が三田に定着し働き続けられることが大切です。
企業誘致場所としてすでに買い上げられた第2テクノパーク(約 97ha)が整地されずに放置されています。開発始動を訴え続けてきた結果、市長の施政方針の中に開発始動が織り込まれました。
また、勤労者が安心して働けるよう訴えてきた成果として、放課後児童クラブの時間延長(5時⇒6時まで)が実現しました。
これからも、安心のまちづくり・三田に向けて、働く環境を整備してまいります。



←
三田出身の通商産業省
事務次官にお会いし、
第2テクノパーク始動
に向けた方向付けを
陳情しました。
(写真は事務次官室)

「びとう和広」は、皆様の声を力に、政策実現に向けて、精一杯がんばります！ これからも皆様の力強いご支援よろしくお願ひいたします。

「びとう和広」後援会拡大活動展開中！
ぜひ後援会に登録・ご紹介をお願いいたします。
紹介はがきにご記入頂き、投函頂ければ幸いです。